

各 位

2024年7月22日

会社名 河 西 工 業 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 社長役員 半谷 勝二  
(コード：7256 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役専務役員 小川 耕一  
(TEL：0467-75-1125)

## 2024年3月期決算短信の開示が期末後50日を超えたことに関するお知らせ

当社は、2024年3月期決算短信を本日開示いたしました。当該開示が決算期末後50日を超えた理由及び今後の決算開示につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 決算短信の開示が期末後50日を超えた理由

当社は、2023年3月期決算において、連結子会社であるKASAI MEXICANA S.A. DE C.V.（以下「KMEX」といいます。）の決算処理及び正確性を確認する手続きの整備・運用が不十分であったことなどに起因し、製造原価及び買掛金の計上誤りや棚卸資産の評価誤り等の相当数の誤りがあったため、同期第1四半期から第3四半期までの四半期報告書及び四半期決算短信を修正いたしました。これにより、当社は、2023年3月期において財務報告に係る内部統制に開示すべき重要な不備があるとして開示を行っております。

2024年3月期においては、KMEXと当社が一体となり、KMEXの管理体制の再構築に真摯に取り組んだ結果、一定の改善が図られましたが、引き続き内部統制上の課題の解決に向けた取り組みが必要となっております。

このような中、KMEXにおいては、2022年12月期（当社における2023年3月期）及び2023年12月期（当社における2024年3月）において、過年度に起因する多数の誤り（売掛金・固定資産の減価償却等の計上相違など）を発見しておりましたが、それらに加えて、決算作業の過程で、更にKMEXにおいて米国会計基準に従って計算すべき為替換算（ペソ/ドル）について、同期以前からその計算方法が誤っていたことが判明し、誤りの累計金額が増大しました。その結果、監査人とも協議の上、過年度に遡って各年度及び四半期の連結財務諸表の訂正作業等を行うこととなりました。

2024年3月期決算手続きにおいて、KMEX及び当社が連携し、外部専門家のサポートも活用のうえ、再計算作業等を進めてまいりましたが、過去データの脆弱性や計算の複雑性等から各期の正確な金額の確定に時間を要したことに加え、2023年3月期決算においてもKMEXが原因で決算修正開示を行っていることも踏まえて、精査作業等全体をより慎重に進めたことから、2024年3月期決算短信の開示が期末後50日を大幅に超えることとなりました。

#### 2. 今後の決算開示について

当社は、今後、期末後45日以内の決算開示を着実に進めるよう適切に情報開示に取り組んでまいります。また、今回の事態を踏まえ、本社経理部門及び子会社管理機能を強化し、再発防止に取り組んでまいります。

今回の決算開示の遅れにより株主、投資家をはじめとする関係者の皆様に多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

以 上